

TDB 圏域別景気 DI (2021 年 3 月)

景気 DI40 以上が 2 月より倍増

～ 全国各地で『建設』業界が地域の景況感をけん引 ～

データソリューション企画部

池田 直紀

TDB 景気動向調査 (2021 年 3 月) の景気 DI は、前月比 2.2 ポイント増の 38.0 となり 2 カ月連続で改善した。3 月 21 日に緊急事態宣言がすべての地域で解除されたなか、人の動きが徐々に活発化したことなどにより上向いた。自宅内消費の拡大傾向が続いたほか、半導体関連や自動車関連などの需要増加はプラスに。他方、燃料価格や原材料価格の上昇は幅広い業種でマイナスとなった。本レポートでは、全国 47 都道府県を 130 の圏域に分割し、圏域別の景気 DI や圏域別の建設業界の景気 DI の動向について捉えた。

1. 景気 DI40 以上の圏域が 2 月より倍増、全体の景況感を下支え

TDB 景気動向調査 (2021 年 3 月) の景気 DI は前月比 2.2 ポイント増の 38.0 となり、2 カ月連続で改善となった。圏域別¹にみると前月から 130 圏域のうち 105 圏域で改善 (2021 年 2 月 102 圏域) となり、8 割超となった。一方で、23 圏域が悪化 (同 26 圏域) した。

また、景気 DI を 10 ポイント区切りでみると、40 台は 48 圏域 (同 21 圏域)、30 台は 78 圏域 (同 101 圏域)、20 台は 4 圏域 (同 8 圏域) となった。景気 DI が 50 以上となる圏域はないものの、40 台以上の圏域が前月より倍増し、全体の景況感を下支えした。

圏域別の順位は、熊本県八代市などの「県南・天草」が 49.1 で最も高く、『製造』や『建設』がけん引役となっていた。以下、高知県南国市などの「高知東部」(48.9)、和歌山県田辺市などの「和歌山南部」(48.3)、埼玉県秩父市などの「秩父」(47.0)、宮崎県都城市などの「^{みやこのじょうきたもろかた}都城北諸県」(46.2) が 40 台後半で上位に並んだ (表 1)。

2. 公共工事や都市の再開発、住宅需要など全国各地で『建設』業界が地域の景況感をけん引

次に業界別の圏域別景気 DI をみる。本レポートでは、10 業界中最高の『建設』(41.6) の圏域別景気 DI を取り上げる。圏域別に『建設』の景気 DI²をみると、「^{みやこのじょうきたもろかた}都城北諸県」が 55.6 でトップとなった。以下、福島県いわき市などの「浜通り」(53.7)、山口県山口市などの「山口・防府」(53.3)、福島県会津若松市などの「会津」(52.8)、長野県飯田市などの「諏訪・上伊那^{はんい}・飯伊」、岐阜県可児市などの「中濃・飛騨」、佐賀県佐賀市などの「佐賀南部」(ともに 50.0) が 50 以上を

¹ 企業が実感する地域の景況感により近づけるため、地域の経済的なつながりや交通網などを考慮し全国 47 都道府県を 130 の圏域に分割して、圏域別景気 DI を算出

² 圏域別『建設』の景気 DI は、回答社数が 5 社以上得られた圏域を対象に算出した

記録した（表2）。加えて、40台後半も20圏域以上となるなど、全国各地で幅広く『建設』が景況感の下支えに寄与していた。

企業からは、「東日本大震災からの復興・創生期間最終年度にあたり、工事が相当数発注されていたので、2021年3月までは忙しい状態が続いている」（土木工事、仙台・仙南）や「2021年2月13日に発生した地震に対応する工事が多くあり、多忙を呈している」（内装工事、中通り）というように、災害復興や復旧に関連する工事についてのコメントが多かった。また、「国土強靱化計画により、補正予算がつき公共工事発注増加によるもの」（舗装工事、宮崎県北・離島）といった声もあげられている。

さらに、「都内の再開発事業は底堅い」（とび工事、区部）や「個人を中心に住宅建設需要が増えている」（木造建築工事、諏訪・上伊那・飯伊）など、都市開発や住宅建設も堅調な様子が見えた。

表1 2021年3月の圏域別景気DI（上位10圏域）

2021年3月調査－上位10圏域－				
順位	都道府県	圏域	主な都市	景気DI
1	熊本県	県南・天草	八代市・天草市	49.1
2	高知県	高知東部	南国市・室戸市	48.9
3	和歌山県	和歌山南部	田辺市・新宮市	48.3
4	埼玉県	秩父	秩父市	47.0
5	宮崎県	都城北諸県	都城市・日南市	46.2
6	長野県	佐久・上小	上田市・佐久市	45.8
7	佐賀県	佐賀南部	佐賀市・鳥栖市	45.4
8	福島県	浜通り	いわき市・南相馬市	45.1
9	岡山県	美作	津山市・真庭市	44.7
10	長野県	諏訪・上伊那・飯伊	飯田市・諏訪市	44.2

表2 2021年3月の圏域別『建設』の景気DI（上位10圏域、回答企業5社以上の圏域を対象）

2021年3月調査『建設』－上位10圏域－				
順位	都道府県	圏域	主な都市	景気DI
1	宮崎県	都城北諸県	都城市・日南市	55.6
2	福島県	浜通り	いわき市・南相馬市	53.7
3	山口県	山口・防府	山口市・防府市	53.3
4	福島県	会津	会津若松市・喜多方市	52.8
5	長野県	諏訪・上伊那・飯伊	飯田市・諏訪市	50.0
5	岐阜県	中濃・飛騨	可児市・高山市	50.0
5	佐賀県	佐賀南部	佐賀市・鳥栖市	50.0
8	茨城県	茨城南部	土浦市・つくば市	49.0
9	北海道	オホーツク	北見市・網走市	48.3
10	富山県	高岡	高岡市・射水市	48.1
10	岐阜県	岐阜・西濃	岐阜市・大垣市	48.1

まとめ

本レポートでは、2021年3月のTDB景気動向調査を用いて、全国を130圏域に分割して圏域別の景気DIを算出し、特徴を捉えた。

2021年3月の圏域別の景気DIは、8割超の圏域で前月比改善となった。特に、40台以上の圏域が前月より倍増し、全体の景況感を下支えした。特に「県南・天草」「高知東部」「和歌山南部」「秩父」は2月に続き連続で上位5圏域に並んでおり、全国の中でも好調を維持していた。

また、『建設』の景気DIについて圏域別にみると、全国各地の景況感を下支えしており、とりわけ災害復興や復旧などをはじめとする公共工事関連の需要増がけん引していた。加えて、都市の再開発や住宅需要などもプラスに働いていた。

全国的な景況感の改善がみられている。景況感の改善の要因を探るためには地域差に加えてその地域にある業界を深堀する必要がある。本レポートでは『建設』に着目したが、他の業界についても把握し、圏域別の景況感の動向を注視する必要がある。

【 問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

池田 直紀

03-5775-3163 keiki@mail.tdb.co.jp

帝国データバンクで毎月実施している TDB 景気動向調査にご協力いただける企業さまは、こちらから登録できます（スマートフォン等をお使いの方は QR コードからも可能です）。

<https://www.tdb-di.com/ent/rent.html>



当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。